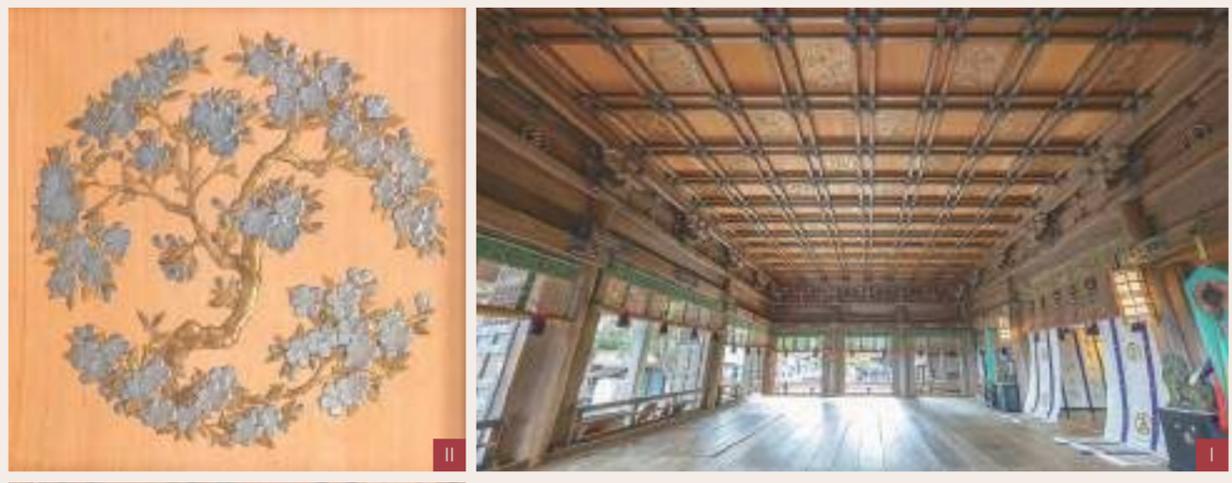


金 こんぴら礼讚

金刀比羅宮

pick up

御本宮 格天井の 桜樹木地蒔絵



1) 御本宮の格天井に施されている「桜樹木地蒔絵」は138枚あり、桜の絵柄は1枚1枚異なる。2) 香川の漆芸のひとつ「蒔繪」で人間国宝に認定されている山下義人氏らが復元を監修。ヒノキの板に、木の幹の部分は金で描き、花の部分は金粉とプラチナ箔を3層に重ねて表現することで、黒く傷まない装飾を実現。
※木地蒔絵とはヒノキやキリ、ケヤキ、クワなど、証目や全目の美しい白木の肌、漆塗りをせず、直接蒔絵を施す技法

8 御本宮の蒔絵

蒔絵は南北の本殿側壁にも本殿南側の外壁に桜の幹が描かれ、屋内の格天井に花が広がり、北側の外壁では枝先に咲く花が表現されている。建物全体で満開の桜を表しているような構成になっている。



御本宮本殿に今も残る建築当時の桜 (左) 本殿南側外壁の蒔絵 (右) 本殿北側外壁の蒔絵



復元の監修者 人間国宝 山下義人氏

1878年の御本宮の改築に伴い、その天井と壁には東京の蒔絵師・山形屋治郎兵衛らによる「桜樹木地蒔絵」が施されていた。120年に及ぶ年月で傷みが進んだことから、1999年より復元プロジェクトを開始し、2004年に復元が完了した。
復元の監修は、後に香川県独自の「蒔繪」の技法で重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された山下義人氏(2013年に認定)が行った。もともと桜の花には、銀の薄板が貼られていた。銀は表面が硫化すると黒くなり、年月によって剥離しやすいため、監修の山下義人氏らは、復元では金粉とプラチナ箔を3枚重ね、桜の形を表現した。
木地となるヒノキ材は、直径1メートル余りの大木から製材されて10年以上経つ良材が138枚使用されている。



2 御本宮の御祭神は大物主神と崇徳天皇、古来から農業・殖産・医業・海上守護の神として伝えられている。3) 御本宮と御別宮をつなぐ南渡殿。4) 御本宮へ向かう最後の階段「御前四段坂」は133段。5) 御本宮の展望台からは瀬戸大橋や讃岐平野を一望できる。

1) 御本宮の御祭神は大物主神と崇徳天皇、古来から農業・殖産・医業・海上守護の神として伝えられている。2) 御本宮と御別宮をつなぐ南渡殿。3) 御本宮へ向かう最後の階段「御前四段坂」は133段。4) 御本宮の展望台からは瀬戸大橋や讃岐平野を一望できる。



4

3

pick up

金刀比羅宮「御本宮」など、社殿群12棟が国の重要文化財指定に

「こんぴらさん」こと金刀比羅宮は、古くから海の神様として全国から信仰を集め、年間約400万人が訪れる県内最大の観光名所。明治初頭の神仏分離により、神社として再興するため社殿には独自の意匠が施され、渡り廊下など一連の施設と共に優れた景観を形成。御本宮は素木造りを採用し、天井には蒔絵で桜の模様を施されるなど、歴史的・文化的価値が高く、見どころがたくさん。境内を再編し、明治政府の宗教政策への対応を示す貴重な事例となっている。

金刀比羅宮の全体マップ



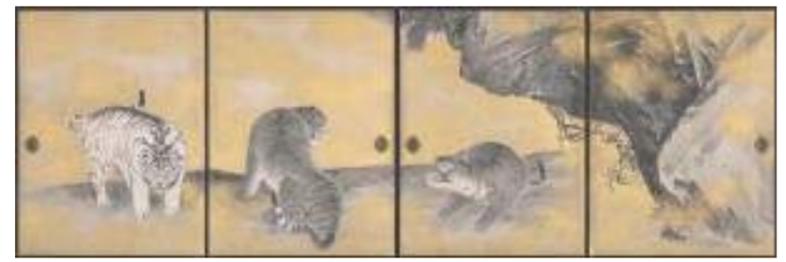
5 奥書院

伊藤若冲「百花の図」
一般非公開である奥書院は江戸前期に建てられ、1955年に国の重要文化財に指定。「上段の間」は、伊藤若冲の「百花の図」で、床の間、壁、襖と、四方が201図の草花で包まれている。



6 表書院

円山応挙「遊虎図」(西面)
諸儀式や参拝に訪れた人々との応接の場として用いた表書院は、江戸前期に建てられ、1955年に国の重要文化財に指定。江戸時代を代表する天才絵師・円山応挙が障壁画を5つの部屋に連ねて描く圧巻の構成。



7 旭社

江戸末期に建てられた旭社は、1982年に国の重要文化財に指定。神仏分離以前、金毘羅大権現の金堂として建立されたものが今に残る。軒や梁、柱、扉にある人や鳥獣、草花など見事な装飾は必見。



例大祭

金刀比羅宮で最も重要な祭典。宵宮祭、例祭、御神輿渡御等が10月9日～11日の3日間で行われる。特に10月10日の「お下がり」では、豪華な金色の御神輿や貴重な御神宝の数々が1年に1度琴平山のふもとに門前町に厳かに下りてくると、参道は更に厳肅な雰囲気となる。



石段500段目にある、こんぴらさんの森が見渡せる空間のレストラン。地産地消をモットーに地元産の食材を使用したコース料理を楽しむ。カフェテリアでは人気の「神椿パフェ」を中心としたスイーツや軽食など、参拝の方の憩いの場となっている。

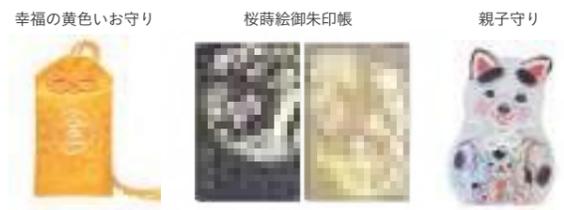


10 カフェ&レストラン 神椿



9 白書院

一般非公開の間「奥書院」の秘蔵アート特別鑑賞と瀬戸内の恵を味わう貸切ランチ
金刀比羅宮が秘める一般非公開の重要文化財の間「奥書院」の特別アート鑑賞体験。静寂に包まれた完全貸切の空間で心ゆくまでご鑑賞いただいた後に締めくくるのは、非公開の間「白書院」での瀬戸内の旬の食材を贅沢に使った和洋折衷のフレンチコース。金刀比羅宮の芸術と美食に浸る非日常体験が味わえる特別なひとときをご堪能。



重要文化財指定記念品ほか 守札・授与品・縁起物 もあります!